

凍結路面を想定した運転

～ 冬道は、焦らず、急がず、出し過ぎず ～

- 穏やかな発進・二段階減速（早目の減速）を体にクセづけておきましょう
- 乾燥路面でも、『今、路面が凍結していたら…』と考え、車間距離を確保しましょう
- ブレーキとハンドルを同時に操作せず、しっかり減速した後に、ハンドル操作をしましょう

「吹雪の視界情報」 運用始まる

吹雪の時の視界の悪さを、24時間先まで予測

2018年11月23日 12時57分

冬道でのドライバーの安全運転に役立ててもらおうと、吹雪による視界の悪化を予測する「吹雪の視界情報」の提供がパソコンやスマートフォンで始まりました。

「吹雪の視界情報」は、札幌市にある寒地土木研究所が毎年インターネットのサイトで提供しています。

ホームページでは道内を221のエリアに分けた上で、予想される風の強さや気温、それに降雪量などをもとに吹雪の時の視界の悪さを24時間先まで予測し、地図上に色分けして表示します。

札幌 アイスバーン、スリップ 赤信号で交差点に進入

札幌手稲区の交差点 乗用車3台絡む事故 信号機に衝突

◇交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意しましょう◇

2018/11/23(金) 12:20

23日午前9時前、札幌市手稲区星置の交差点で、乗用車と軽乗用車、計3台が絡む事故があり、はずみで1台が信号機に衝突しました。この事故で男女3人が膝や胸の痛みを訴えて病院に搬送されました。事故当時、路面はアイスバーン状態で1台の車が赤信号で交差点に進入したという事です。

小樽 橋の上で…路面凍結、スリップ

車両10台次々と

国道337号と国道5号が合流する橋の上

壁に衝突したり、前の車に追突したりする事故

2018/11/23 20:48

道内は一気に冬景色となりましたが、各地で雪や路面凍結が原因とみられる事故が相次いでいます。小樽市の国道では、車10台が絡む事故があり、1人がけがをしました。事故があったのは、小樽市銭函の国道337号です。午後1時すぎ、乗用車など車10台が相次いで壁に衝突したり、前の車に追突したりする事故を起こしました。この事故で、1人が体の痛みを訴えているということですが、けがの程度は軽いということです。現場は、国道337号と国道5号が合流する橋の上で、付近は、およそ4時間にわたって通行止めとなりました。警察は、路面凍結によるスリップが事故の原因とみて詳しく調べています。

天塩 路面凍結でスリップ バス横転

高校生ら9人搬送

◇橋の上・日陰部分・トンネル出入口・切りとおしは、凍結の可能性、スリップ事故に注意しましょう◇

2018年11月23日 12時29分

23日午前9時前、道北の天塩町の国道40号線で、部活動の合宿に向かう高校生らが乗った大型バスが横転し、警察によりまずと乗っていた9人が病院に運ばれました。現場は、路面に雪が積もり凍結した状態だったということで警察はバスがスリップしたものとみて調べています。